

副官
大藏
同奉官

浪速機務第一〇三號

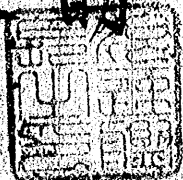
乙隊機務第一〇三號

英國商船臨檢報告本艦分隊長心得坂元
貞二ヨリ提出候付此段進達候也
明治三十七年十月廿九日

浪速艦長 和田賢助

海軍大臣 男爵 山本權兵衛殿

十月廿九日



0154

商船臨檢報告

余依り英國商船臨檢ノ結果左記ノ如クニ
候條此段報告候也

明治三十七年十月廿四日

浪速分隊長心得海軍中尉坂元貞二

浪速艦長海軍大佐和田賢助殿

一 臨檢日時 明治三十七年十月廿四日午前七時
 一 臨檢位置 對馬三島燈台、北東、東二十五哩
 一 船名(符字) エーペー (HUPEH) (湖北) (SRCD)
 一 國籍 英國
 一 船長國籍姓名 英國人 Mathias
 一 船主名 China Navigation Co.
一 船員乗客、負
數及其國籍 高等船員五名、英國人水夫六名、支那人乗客ナシ
 一 噸數 登簿噸數 一、二、四、七、二
 一 形狀諸別 二 樺一 烟突黒塗、荷物船
 一 載貨 昆布 函館ニアル「チャイ」子ウケレ、カバニ「代理店」リ
全會社ニ仕送りナシ
 一 出発地 函館
 一 出発日時 明治三十七年十月廿一日午前六時
 一 目的地 上海

0156

一、航路ノ概略

函館より津軽海峡西口ニ出テ西ヨリ南西ヲ西ノ針路ニテ上海ニ向

一、船船書類

凡テ完備シ正當ナリ

一、記

事

全船十月十四日朝鮮海峽ニテ本艦ノ臨檢セシモノニテ

全十八日午前五時函館着載貨ノ上上海航港ノ途

アルモノナリ

右ニ依リ異状ナキヲ認メ全船航泊日誌ニ解放ノ旨記シ署

名航艦ス

司令官

参謀

参謀

副官

浪速艦 一〇七號

諾威捕鯨船臨檢報告本艦分隊長松坂
茂ヨリ提出矣此段進達候也

明治三十七年十月廿五日

浪速艦長 和田賢助

海軍大臣 男爵 山本権兵衛殿

乙陽換者印七〇三号
中三艦隊長官ヨリ大臣宛進達ノ
(獨船コモ号ト共)

乙陽換者印七〇三号

海軍

0158

捕鯨船臨檢報告

命依^リ諾威捕鯨船臨檢ノ結果左記ノ如クニ
候條此段報告矣也

明治三十七年十月廿四日

浪速分隊長海軍大尉松坂茂

浪速艦長海軍大佐和田賢助殿

一 船名 リックス REX (符字HKRM) 一本橋、一本煙突、汽

船橋、頂部、近クトツラ有シ煙突、頂部、近ク赤

線二條ヲ画ク

一 噸数 登簿噸数 二四噸 (グロストニチーじ 一〇六噸)

一 國籍 諾威

一 船主 諾威人 クリスチヤ在住 イーランド E. LUNDB

一 船長 諾威人 ヘリックゴベニスメルム HENRIK GOVANIS MERLUM

一 積荷 捕鯨用具、外ナシ

一 出港地名 韓國蔚山

一 出港日時 明治三十七年十月廿四日午前九時

一 目的 釜山沖ニテ捕鯨ノ上蔚山ニ帰港

明治廿七年十月廿四日午後〇時三十分対州西水道三島燈台

北ニ東約十九哩半ノ地点ニ於テ右汽船ヲ臨檢ス

該汽船嘗テ高千穂ノ臨檢シタルモノニテ諾威クリステイヤレックス會
 社ニ屬シ明治三十四年九月十五日ヨリ引続キ日本遠洋漁業
 株式會社ニ傭ヒタルモノニテ捕鯨ヲ業トシ蔚山港ヲ其根據
 地ト定メ韓國東海岸ニ漁スルモノナリト云フ依テ國籍證書
 海員名簿傭船契約書海圖及船内等ヲ檢シタルモ異
 狀ヲ認メス依テ其昔本艦ニ報セリ
 乘員ニ合計十四名ニシテ諾威人貳名支那人三名他ノ皆
 韓人ナリ
 其姉妹船レヂナー蔚山ヨリ北方ニ在テ漁業ニ從事シツアリト云フ
 又々其要スル石炭其他ノ日本博多及馬炭等ヨリ蔚山ニ運
 搬スルモノニテ日本汽船(チヨードマル?) (約二百噸位ナリト船長ニ云ヘリ) 及
 他一艘ノ其運搬汽船ナリト云フ

笠置第四六一號

十月四日進達

汽船臨檢報告

本艦哨艦勤務中一高船臨檢結果別紙

臨時報告書通リニ別ニ異状ナキヲ認メ解放

候條此致又報告候也

明治三十七年十一月一日於尾崎灣

笠置艦長井手麟六

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

乙種機密第七〇三号

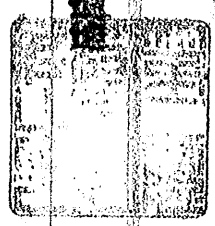
中三艦隊司令官大臣近藤達一

(獨紙ヲモウトモ)

奏請

奏請

十月一日



0163

678

臨檢報告

依年十月廿日神崎沖に於て一高船ヲ停檢ス船籍証
書之依之ヲ檢ス其國籍及碇繋港ハ諸威國ナリ
シヤニシテ上海ニ於テ三井物産會社ニ傭シテ九月
上海ヲ發シ航海用名積ヲ積ニ係セテ上海支店より
司支店ニ於テ用向ノ為メ船司直行スルモノナリ航
海月誌ヲ檢スルニ異ク收ヲ認メズ又該船ハ一積荷
及乗客モ船長曰ク之レヨリ船司ニ至リ石炭積載ハ
上山槽ニ至リ材木及楠(南板)ニ等ク積載シ大沽ニ至
リ荷揚スルハ依頼ヲ受ケ居レト今時右船長ハ右
ニ關スル依頼書及門司支店ニ宛テ書類及小
樽入港ニ關スル水路ヲ指示シタル書類ヲモテ該船
書類及積荷等異状ハ別命ニ井物産會社依頼

本為參考添付之報告候也

(一) 船名 HALVARD

(二) 國籍及付寄港 CHUCCIAMOY ~~Prinny~~

(注) 船名: Drammen in Skippershuset

(三) 寄付信箱 HGDK

船名ハ信箱代ニ船名トシテ信箱ノ右ニ付テ見取報トシテ
本報トシテ寄付信箱トシテ見取報トシテ見取報トシテ見取報トシテ

(四) 登簿噸數千五百六拾噸 日六 HGDK

(五) 船長氏名 William Bicknell (Master of the ship)

(六) 行先地名 門司(寄港) 樽港

(七) 寄港地 (寄揚地) 大沽 (清國)

(八) 出港地 上海

(九) 速力 十哩

0165

右及報吉文也

明治三十七年十月三十一日

海軍大臣大塚敬久

軍艦長井手藤之助

0166

Memorandum.

From

THE MITSUI BUSSAN KAISHA.

Shanghai, 28th Dec 1904

To The Captain

SS "Malvada"

Dear Sir,

We beg herewith to enclose
a copy of the Regulations regarding the Caution
to be taken when entering the Harbour.

You are instructed to proceed
direct to Koffi and there receive a sufficient
number and being so laden to proceed to
Olam to load Timbers, Rumbos etc. and
discharge same at St Taku. In Case

0167

Memorandum.

From

THE MITSUI BUSSAN KAISHA.

To

2

Shanghai, 190

0168

any alteration should happen to the above,
my wire will be out at once to Enji.

Hoping you will have a pleasant
and speedy voyage.

mean, Dear Sir,

Yours faithfully

For the MITSUI BUSSAN KAISHA.

[Signature]

軍務局
第千總機密第五四号

十月十五日

報告

十月九日 日進達

本月十日前八時三十五分北緯三十三度三十五分東經百廿八度三十分
於英國汽船奔州號之臨檢ノ大尉巖崎茂四郎
ヲ派遣セシメ報告要領左ノ如シ

船名 奔州 (T.R.K.H.)
船籍 英國

船長 国籍 英國人 James Riley

船主名 The China Mutual Steam Navigation Co.

船員乗客ノ員數 英國人 三十六人 支那人 五十六人
其國籍

噸數 總噸數 八千八百十三噸
登簿噸數 五千七百十六噸

船狀 識別 上甲板及上白舷ニ二種一煙突(白色ニテ上端黒色)ノ有ル

0169

載貨

少許、麦藁帽子材料

出発地

大沽

出発日時

十二月八日午後四時

目的地

門司

航路概略

長岑水道ヲ至テ滑州島ノ南方ヲ通過ス

船舶書類

異状ヲ認メス

本船門司行ノ目的地既生商會ノ命アル迄確走セザルモ

多分全地ニテ石炭ヲ搭載シ上海向フテラシム

前記ノ如ク別ニ怪シムヤ矣ノ認メサルヲ以テ直ニ解放通航ヲ許可セ

右ノ報告ニテ

明治三十七年十一月十三日

高千穂艦長毛利兵衛

海軍大臣野澤山本権兵衛



高千穂機密部

十月十七日



軍務局

本月十四日 哨艦勤致

釜山港ノ南東約十哩ノ位置ニ於テ本艦ヲ

艇艦首約十哩ノ處ニ當リ北東ニ航スル一外国

汽艇ヲ見シ直ニ追蹊シタルニ諾国ノ旗章ヲ

掲揚セルヲ見ル三島燈台ノ北々東二分一東二十

哩ノ處ニ於テ停航ヲ命シ本艦分隊長海軍大尉山

崎正策ヲ派シ臨候セシメタルニ報告ノ要領左ノ如シ

艇名 Eibsvold

信号符号 O. G. R. D.

イニシャルシヨナル符号 J. T. P. R.



聯隊機密部外ニシヨクニ
聯隊長官ヨリ右艦進達ノ一
(レヤシク臨候報告ト共)

0171

参謀部

軍務局

七月

高橋

0172

手紙
高橋 啓
八月十七日
東京 高橋 啓
東京 高橋 啓

参謀長

参謀

副官

陸士

印

本月十四日、本艦哨艦勤務ヲ終ヘ、竹敷、飯瓶、途
釜山港、南東約十哩ノ位置ニ於テ本艦左
舷艦首約十哩ノ處ニ當リ北東ニ航スル一外国
汽船ヲ発見シ、直ニ追蹊シタルニ、諾国ノ旗章ヲ
掲揚セルヲ見ル。三島燈台、北々東二分、一東二十
哩ノ處ニ於テ停航ヲ命ジ、本艦分隊長海軍大尉山
崎正策ヲ派シ臨検セシメタルニ、報告ノ要領左ノ如シ

船名

Eibsvold

信号符号

Q. G. R. D.

インターナショナル符号

J. T. P. R.

0172

国	籍	諾威
船主	長	諾威人 H. Trouik
船名		諾威国 <i>Borgen No. 40 Str. Michelsen & Co.</i>
乗客	負	船長以下 二十五名
噸	教	ナシ
形状	識別	三千五百三十五噸三七 <small>二橋一烟突 船体黒色 処々剥落シ 烟筒ニ星形ノ印アリ</small>
載貨		ナシ
出港地		韓国 鎮南浦
出港日時		十一月十二日
目的地		北海道 小樽港
航路ノ概略		鎮南浦ヲ發シ 韓国 西岸ニ沿 テ南下シ 濟州島北方ヲ經テ

0173

船舶各類

対州西水道ヲ通過シ小樽へ直航

郵船会社及北海道炭鑛鉄
道会社ノ契約各ヲ有スル外異
状ヲ認メス

本船ハ初メ郵船会社ノ備入船ナリシモ目下北海道
石狩國空知郡岩見沢村南六番地二十一号北
海道炭鑛鉄道株式会社ノ備入船ニシテ小樽
鎮南浦間ニ鉄道用枕木ヲ運搬シツアアリ航
海区域ハ近海航路航行期間ハ三十七年十月
十九日ヨリ三十八年一月十八日迄ナリト云フ又船長
ノ談ニ依レハ本日午前十時頃西水道ニ於テ
我水雷艇ノ検閲ヲ受ケタリト
前記ノ如ク毫モ怪ムヘキ莫ナカリシヲ以テ直ニ通

版ヲ許可セリ

右報告候也

明治三十七年十月十四日

高千穂艦長毛利一兵衛



海軍大臣男爵山本権兵衛殿

0175

軍務局戻

軍務局

司法局

軍令部

海軍大臣男爵山本権次衛門殿

海上捕獲規程第七十二条に依り別紙添報
書及提出候也

明治廿七年十一月廿日 第十八艇隊司令河田勝治

局員

海軍大臣男爵山本権次衛門殿

局員

内田

第十八艇隊司令印

河田勝治

0176

臨檢報告(艦艇名)第六十一年艇

臨檢日時	十月十八日午後一時
臨檢位置	神崎南方約二哩
船名(籍字)	HERO (HGGJ)
國籍	諾威
船長國籍姓名	諾威人 O. J. J. J. J.
船主名	同人
船員乗客貨物 数及其國籍	乗組人員三名、英人、諾威人、 一人、 係屬教 三七七トシ 登陸者數 二四八トシ
噸数	二本楯一烟突外船尾色烟突及柱黄色
形状識別	鐵軌滿載
載貨	北米 Sakama
出發地	北米 Sakama
出發日時	十月十九日發
目的地	韓國仁川
航路概要	北米ヨリ北海道室蘭ニ向直航十月十三日室 蘭津港海峽ヲ経テ對馬東水道ニ向フ
船舶書類	総テ整備
記事	疑ハシキ英侯チキテ釋放セリ

(備考) 臨檢位置可成 經緯度ニ依ラハルヲ要ス

八重樫番頭二番八号
八重樫番長の大日本報第一
(其船がスモント号ト云)

0178

出発日時	出発地	載貨	形状識別	噸数	其船國籍	船主名	船長國籍姓名	國籍	船名	位置	日時
十九日	神戸	木炭、板、酒、其他食品	二桶一煙突、クローナ一形ミテ煙突ノ上部ニトノ字ヲ付ス	總噸数一五七七噸 登簿噸数九九八噸	支那人三 瑞典人六 日本人九	「アングファルナグサクチビラツエツト、カリン」	「ボンドルト」ニシテ瑞典人	瑞典	「リサ」	北緯三十八度五分 東經五十二度廿五分	廿三日午後九時頃

0179

八重嶺船名一三〇号
八重嶺長分大作船報告ノ

臨檢報告

日	時	位	船名	國籍	船長國籍姓名	船主名	其國籍	噸數	形狀識別	載貨	出發地	出發日時
廿三日	午後九時頃	北緯三十八度五分	リサ	瑞典	ホンドルト 瑞典人	アングファルナグサクチビラツエツト、カリン	支那人三 瑞典人六 日本人九	総噸數一五七七噸 登簿噸數九九八噸	二櫓一煙突 「スグーナー」形ミテ煙突ノ上部ニ「K」字ヲ付ス	木炭、板、酒、其他食品	神戸	十九日

0179

目的地	午莊
記	全船前記ノ荷ヲ載セ神戶ヲ発シタルモノニテ荷主大坂川 定七商店貿易部ナリ 全船日本航路及寄港地名左ノ如シ 神戶小樽間(西航) 小樽網走間 神戶台湾 函館樺太島間 神戶小樽間(東航)
事	此度午莊未為門司税関支署ノ検査済ノ証書ヲ有セリ 余ヨリ老鉄山水道通航ナスカラサレ肯セ旨メ解放セリ
明治三十七年十月廿四日	
海軍大尉 三上良忠	
八雲艦長松本有信殿	

2

軍務局

司

司令官

参謀長

参謀

副

官

田

三九

353

原簿二

青二

達達

別紙東雲艦長提出係船舶信檢報告書

達達

德田

明治三十二年十月二十五日於少年島東雲

第三駆逐隊司令吉島重太郎

第一艦隊 第三駆逐隊 司令印

第一艦隊司令官東郷平八郎殿

司員

印

0184

船舶臨檢報告

封鎖警戒中明治三十七年十月廿四日午前一時船燈ヲ照シ北緯
 三十八度三十一分東經百二十度五十四分ノ位置ニ於テ約南々東
 ニ航走スル船舶ヲ見エラシメテ第三駆逐隊司令ノ命ニヨリ之ヲ追蹊
 シ近クニ及ビテ探海燈ヲ照シテ之ヲ照スル船首ニ *Shikama* ヲト記スル汽
 船(約千五百噸)ニシテ荷足揚々空船如ク而シテ抹國々旗ヲ掲ケ
 居タリ依テ本艦ノヤードムニ掲ケル軍艦旗ヲ照シテ明カニ識別スル
 得セシノ且ツ汽角ニヨリ臨檢ヲ爲々意ヲ表セシ直クニ停止セシラシテ
 海軍中尉和田健吉ヲ臨檢士官トシ海軍大主計江口在二郎ヲ
 補助トシテ之ヲ臨檢セシメシニ何等ノ嫌疑ナキヲ認メシヲ以テ之ヲ解
 放スル而シテ臨檢士官ノ臨檢ニ正當ニ行ヒシモト認ム別紙臨

候士官ノ報告書相添ノ報告候也

明治三十七年十一月二十五日

東雲艦長海軍少佐吉田孟子

海軍大臣男爵山本權兵衛殿

0183

船舶臨檢報告

臨檢士官 東雲 乘組 海軍中尉 和国 健吉
東雲 乘組 海軍大士 許江 口 性三郎

一 場所及時

所 北緯三十八度三十分 東經百二十度五十四分
時 明治三十七年十月二十日 午前一時八分

二 船長及船員陳述

船長 告ハルニ 臨檢ノ為メ 来リ 先旨ヲ以テシテ 而シテ 我尋門ニ 應
セシラ 求メ 尤、陳述ヲ 得タリ

一 船名

Shewans

二 船籍

丁 抹國

三 貨物船中ニ 載仕 貨ナシ

四、乗客、郵便行書類

五、出港地、牛莊ニシテ到達地ハ上海ナリ但シ上海ニ到達スル綿花

積神戶ニ向テ豫定

三、船舶書類ノ検査

船員ノ陳述ノ確認ヲ得ルガ爲メ船舶書類ノ提供ヲ請

求セシ直々ニ之ニ應ズル乃ケ

一、船舶国籍證書

二、通航券

三、航海日誌

四、載貨目録

ラ検査セリ他ノ其必要ナキヲ認メシテ其提供ヲ請求セズ而

メ船舶書類ノ記載セル事項ハ船長ノ陳述ト矛盾セズ具

書類ノ整頓セリ

四、判定

一、船長、我封鎖區域ヲ知レシモ此航路ガ必スシモ封鎖線ナリ

シテ知ラス

二、船、敵船ニ非ス中立國船舶ナリ

三、封鎖、出入港侵破ヲ企テ或ハ傍俸セントスルモノニ非ス

四、載貨、戰時禁制人、戰時禁制書ナシ

五、軍事ニ供スル中藏裝ナシ

六、敵ヲ幫助シ若ハ我行動ヲ沮害セントスルモノニ非ス

七、敵艦ノ護衛ノ下ニ航行スルモノニ非ス

五、解放

既ニ何等ノ嫌疑ヲ認ムカニ依リ船長、余ニテ手続
ヲ以テ解放ス

一、此水道、我封鎖區域ニテルヲ以テ自今高山水道、航路
ヲ可トスル旨ヲ船長ニ通告ス
二、航海日誌ニ規定ノ如ク自署ス
三、我臨検ニ異議ナキヤ同ノ其異議ナキ旨、答ヲ得タリ

0187

東洋第八三三号

十月廿九日 追跡

第三艦隊 司令印

船隻 船舶臨檢報告

封鎖警戒中明治三十七年十月廿四日午前一時舷燈ヲ點シ北緯三十八度三十一分東經百二十度五十四分位置ニ於テ約南々東ニ航走スル船舶ヲ見タルヲ以テ第三駆逐隊司令ノ命ニヨリ之ヲ追蹊シ近クニ及ビテ探海燈ヲ點シテ之ヲ照スニ船首ニ「*Yokohama*」ト記スル汽船(約千五百噸)ニシテ荷足揚リタル空船ノ如ク而シテ丁抹國々旗ヲ掲ケ居キ依テ本艦ノヤリタムニ揚ケル軍艦旗ヲ照シテ明カニ識別スラ得セシメ且ツ汽角ニテ臨檢ヲ爲ス意ヲ表セシニ直ニ停止セラレテ海軍中尉和田健吉ヲ臨檢士官トシ海軍大主計江口莊二郎ヲ補助トシテ之ヲ臨檢セシメシニ何等ノ嫌疑ナキヲ認メラレテ之ヲ解放セシム而シテ臨檢士官ノ臨檢正當ニ行シタルモノト認ム別紙臨檢士官ノ報



横濱分隊印

告書相添、報告候也

明治三十七年十月二十九日

東雲艦長海軍少佐吉田孟子



海軍大臣男爵山本權兵衛殿

海軍省

0189

横濱海軍工廠

船舶臨検報告

臨検士官 東雲乘組海軍中尉 和田健吉

東雲乘組海軍大尉 江口庄二郎

一、場所及時

北緯三十八度三十分東經百二十度五十四分

時 明治三十七年十一月二十四日午前十時八分

二、船長及船員、陳述

船長 告タル臨検為、未、タル旨ヲ以テシ而、我尋問ニ應

セ、求メ、尤、陳述ヲ得、タリ

一、船名 *Shamuis*

二、船籍 丁扶國

三、貨物 船ナシ、七載貨ナシ

海軍

0190

四、乗客、郵便行囊

五、出港地、牛莊ニシテ到達地、上海ナリ但シ上海ニ到達ノ上、綿

花ヲ積ミ神戸ニ向フ豫定

三、船舶書類、検査

船舶負、陳述ノ確證ヲ得シガ爲メ船舶書類、提供ヲ請

求セシ直キ之ニ應ジリ乃ケ

一、船舶國籍證書

二、通航券

三、航海日誌

四、載貨目錄

ラ検査トモヒ其必要ナキヲ認めシテ以テ其提供ヲ請求セム

而シテ船舶書類、記載セル事項、船長、陳述ト矛盾セ

ズ具ツ書類、整頓セリ

0191

四 判定

一、尋門及検査其他ノ状況ヲ尤ノ諸件ヲ確認ス

二、船長ハ我封鎖区域ヲ知シモ此航路ガ必スシモ封鎖線ナリシラ知
ラス

三、船敵船ニ非ス中立國船舶ナリ

四、封鎖ノ出入港侵破ヲ企テ或ハ僥倖セントスルモニ非ス

五、載貨ノ戰時禁制人ノ戰時禁制書ナシ

六、軍事ノ供スベキ艦装ヲレ

七、敵ヲ幫助シ若ハ我カ行動ヲ沮害セントセシモノニ非ス

八、敵艦ノ護衛ノ下ニ航行スルモノニ非ス

五 解放

既ニ何等ノ嫌疑ヲ認メザルニシテ船長ハ命ニテ尤ノ手續ニテ解放
放ス

一此水道ニ我封鎖区域ニアルヲ以テ自今高山水道ノ航路ヲ可

スル旨ヲ船長ニ通告ス

二航海日誌ニ規定ノ如ク自署ス

三我臨檢ニ異議ナキヤラ恊ト其異議ナキ旨ノ答ヲ得タリ

高千穂機密第五四号

十月廿八日 日進

報告

十月廿七日

本月廿六日午前十時三十分對馬國嚴原(東方三湮) 凌ニ於テ英船 アラントニ 號ヲ臨檢セシニ臨檢士官森 大尉 報告要領左ノ如シ

船名符号

Alerton S. O. D. V

國籍

英國

船長國籍姓名 英國人

Idemny Mitchell

船主名

William P. Pea Belfast

船員乗取員數

船長外廿七名 十人乗客 十六人乗客

噸數

二千七百七十九噸 三九 (壹薄噸數)

形状識別

二楯 一烟突 白黒色 船楯 白色

司法局

軍務局

參謀長

參謀

官

十月五日

載貨

工炭地

出炭日時

目的地

航路概略

船舶書類

和炭六千五百噸

室蘭

十月二十日午前七時

新嘉坡

室蘭より津輕海峡ヲ経テ南西四五三

西ノ針路ニテ廿五日午後八時沖島ヲ

大船正横ト海里ニ見テ今朝午前四

時三十分迄岐島ヲ沈メタル風波ヲ

避クル豫定ナリトモ家ニ合島ヲ認メ

依テ對島國籍知港附近ニ避泊シ

風和ラクラテ目的地ニ直航

船ヲ完備シ室蘭税関支局ニ出港

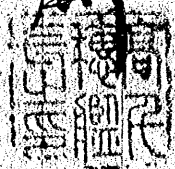
証明書ヲ有ス

本船の寄る日本海に於て露艦の差押られ浦港へ
 引致其係抑置せし船長の露都へ送らるるが
 招致審理の結果解放せしむるもミシテ長特日
 碇泊せし結果船底に見穀の附着一尺余に及
 連力僅に五節に過キス昨日未の風波困難ヲ
 極ノ石炭消費一昼夜五拾噸に達せりト
 浦港の事聞シテ頗る不平ヲ抱キ居ルモノ如シ
 今船長談ナリトテ週日新聞等に託載シアリシト
 今様談ナセリ

右報告矣也

明治三十七年十一月廿六日花竹敷

高千穂艦長毛利兵衛



海軍大臣野村權平殿

0197

可

軍

海軍省第一三四

三月九日進達

三月九日

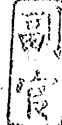
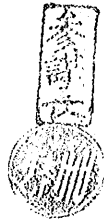
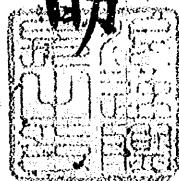
別紙英國商船臨檢報告本艦分隊長行
廣清太ヨリ提出矣此段進達矣也

明治三十七年三月二日

浪速艦長 和田賢助

海軍大臣男爵山本権兵衛殿

馬員



海軍

0198



對馬艦長 一三四號三

五月三日



副官 五十九

一臨檢船難告達

右海上捕獲規程第七十二條ニ基キ達達
但英船 Jander 外一隻臨檢ノ旨
仕舞也

明治卅一年十二月三日

對馬艦長 仙頭武央

海軍大臣 男爵 山本權兵衛 殿

若威汽船 エイトおル卜号臨檢
報告ハ其国籍ノ部ニ送込ナリ

貳通

0199

海軍

臨檢報告(艦艇名)

軍艦對馬

臨檢日時 明治三十七年十二月一日午後八時三十分
 臨檢位置 韓崎東北約二十三海里

船名(符號)

Ganges (T.H.D.J.)

國籍

英國

船長國籍姓名

英國人 William Sibbald

船主名

James Watson & Co. Steamship Co.

船員乘客船員數及其國籍

船員六名 乘客一人 船員及乘客合計七名

噸數

二千七百二十一噸

形狀識別

二播一煙突

載貨

ガラストニ清水九百三十屯ヲ搭載ス

出發地

威海衛

出發日時

十一月二十九日午二時七時

目的地

室蘭

航路概畧

山東海角ヨリ日達若ノ津方島ノ北方ヲ至テ
 対馬水道ニ至リ北東ノ東ノ針路ヲ執ル

船舶言類

完備

意見

右各項記載ニシテ如ク別段嫌疑ニキラス
 拿捕スヘカランモノト認メ直チニ解放セリ

(備考) 臨檢地ハ可成経緯度ニ依ラサルヲ要ス